中2 歴史 近世 一問一答（20問）　版Mの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 本能寺の変のあと天下統一を引きつぎ、大坂城を築いて、1590年に全国を統一した人物はだれか	豊臣秀吉 （羽柴秀吉 でも正解）
(2) スペインの援助を受けて西に航海し、その船隊が世界一周をなしとげた人物はだれか	マゼラン
(3) 尾張の戦国大名で、室町幕府をほろぼし、安土城を拠点に天下統一を進めた人物はだれか	織田信長
(4) 16世紀にルターらが、免罪符を売るカトリック教会を批判して始めた運動を何というか	宗教改革
(5) 16世紀半ばに、中国船に乗ったポルトガル人が流れ着き、日本に鉄砲が伝わった鹿児島県の島を何というか	種子島
(6) 江戸時代の大名のうち、1600年の天下分け目の戦いの前から徳川家に従っていた大名を何というか	譜代大名 （譜代 でも正解）
(7) 江戸幕府が、キリスト教徒を見つけるために、キリストやマリアの像を踏ませたことを何というか	絵踏 （踏絵・絵踏み でも正解）
(8) 徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開いたのは西暦何年か	1603年
(9) 江戸時代の初め、幕府から渡航を許す朱印状を与えられた船が、東南アジアなどで行った貿易を何というか	朱印船貿易
(10) 江戸時代に、朝鮮との外交や貿易の仲立ちをした藩を何というか	対馬藩 （宗氏 でも正解）
(11) 江戸時代に、農民たちが団結して、年貢の軽減や不正な役人の交代などを求めて起こした行動を何というか	百姓一揆
(12) 18世紀前半に8代将軍が行った、質素・倹約をすすめ、新田開発や目安箱の設置などを行った改革を何というか	享保の改革
(13) 18世紀の終わりに寛政の改革を行った老中はだれか	松平定信
(14) 18世紀後半に老中となり、商工業者に株仲間をつくることをすすめ、営業税を取った人物はだれか	田沼意次
(15) 生類憐みの令を出し、学問を重んじる政治を行った江戸幕府の5代将軍はだれか	徳川綱吉
(16) 働き手を作業場に集めて、分業で製品をつくる生産のしかたを何というか	工場制手工業 （マニュファクチュア でも正解）
(17) 町人の生活や気持ちを、浮世草子という小説に描いた人物はだれか	井原西鶴
(18) 杉田玄白や前野良沢らが、オランダ語の解剖書をほん訳して出版した本を何というか	解体新書
(19) 『古事記伝』を書いて国学を大成した人物はだれか	本居宣長
(20) 江戸時代に、町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだところを何というか	寺子屋